

# 丸森に観光客招く 猫神さま

## 石碑や石像84基 全国最多

### 21、22日・イベント

譲渡型保護猫カフェ「まるもふ堂」がある宮城県丸森町は、「猫神さまに会える町」として知られている。猫の石碑や石像が84基もあり、その数は全国で1番なんだ。21、22日には「猫の日」のイベント「猫神祭」が町内で開かれるよ。

(1面に関連記事)

猫のキャラクターがデザインされた缶バッジが当たる「猫ガチャ」。猫の足跡が焼き印されたり、猫をモチーフにしたグッズや土産物などが、いろんな所にあります。町が「猫神さま」を地域の売りにするようになったのは、ここ10年ほどの話です。全国的な猫ブー

ムもあり、猫の石碑や石像に注目が集まったのがきっかけでした。丸森町の猫の石碑文化を語るときに欠かせない人がいます。猫民、俗学を専門とする宮城県村田町歴史みらい館館長の石黒伸一朗さん(68)です。

石黒さんは約20年前、村田町や周辺地域に残る猫の石碑などの

調査を始めました。当時の丸森町史には3基しか紹介されていませんでしたが、町内を歩くと一つ、また一つと新しい石碑、石像が見つかりました。

石黒さんによると、丸森町内の84基は宮城県全体の138基の6割に上ります。全国でも312基しか確認されていません。なぜ、丸森町に数多くの石碑、石像が残されているのでしょうか。

石黒さんは「丸森町は江戸後期から明治にかけて養蚕が盛んで、蚕の幼虫や繭を食べてしまうネズミよけの猫を飼う家が多かったからです」と説明します。丸森町は花こう岩の産地で、石材を加工する職人「石工」が多く住んでいたのも、石碑、石像が多い理由の一つだそうです。

猫神さまは現在、観光客を町内に呼び込む「地域の宝」に生まれ変わりました。

2022年に始まった猫の日イベント「猫神祭」は今年で5回目。21、22の両日、町内の不動尊クラインガルテッククラブハウスをメイン会場に、猫グッズの販売や猫の石碑、石像のパネル展示などを行います。

猫神祭を主催する町観光物産振興公社の担当者は「猫神さまという丸森町の石碑文化を知る機会にしてほしい」と来場を呼びかけています。

一つ一つ表情が違う猫の石碑。場所は丸森町内の①愛敬院②瑞雲寺③福一満虚空蔵堂④高田石碑群(町観光物産振興公社提供)



## はじまりの地 仙台で 創作秘話を解き明かす

異才が現代に解き放ちしダークファンタジー『呪術廻戦』。今回、その「創作秘話」を解き明かす大型展覧会を開催します。本展覧会では、デジタル手法による『呪術廻戦』の創作工程を、作者の解説も交えながら一挙公開。ストーリー、キャラクター、イラストワークの数々は、いかにして生み出され、進化を遂げ、高みへと構築されるのか!? 作者芥見下々氏の「思考の帳」にぜひ足を踏み入れてみてください。

チケット料金(税込)  
一般……………2,000円  
中学・高校生……………1,500円  
4歳～小学生……………1,000円  
グッズ付(数量)……………4,200円

グッズ付チケット 領域展開アクリルジオラマ  
A 無量空処 B 伏魔御厨子  
※A・Bのうちご希望の1種を指定して購入となります。※予約グッズは入場当日に会場にてお引換えとなります。

※掲載画像各種はイメージです。実際の商品や特典とは異なる場合があります。※商品は売り切れや入荷待ちとなる場合があります。

2026 2.14 SAT 3.29 SUN  
開館時間 10時-18時 (17時最終入場) 10時-17時 (16時最終入場)  
会場 東北福祉大学ギャラリーミニモリ 宮城県仙台市 宮城野区榴岡2-5-26  
主催: 河北新報社、tbc東北放送 企画: 呪術廻戦展プロジェクト委員会 企画協力: 特別協力: 東北福祉大学 協力: S Bird Promotion

【仙台会場公式HP】 <https://jujutsuten-sendai.com/> 【仙台会場公式X】 @jujutsuten\_sen 【お問い合わせ/河北新報社 事業部】 TEL 022-211-1332 (平日10時-17時)

【注意事項】●本展覧会は漫画作品『呪術廻戦』の内容に準拠します。コミックス未公開及びアニメ化前の内容を含みます。予めご了承の上、ご来場ください。●本展覧会に関する情報は予告なく変更になる場合があります。最新情報、詳細、注意事項を仙台会場公式HPにて必ずご確認ください。

Exhibition: Gege Akutami "JUJUTSU KAISEN"

芥見下々 呪術廻戦展

じゅじゅつかいせんてん